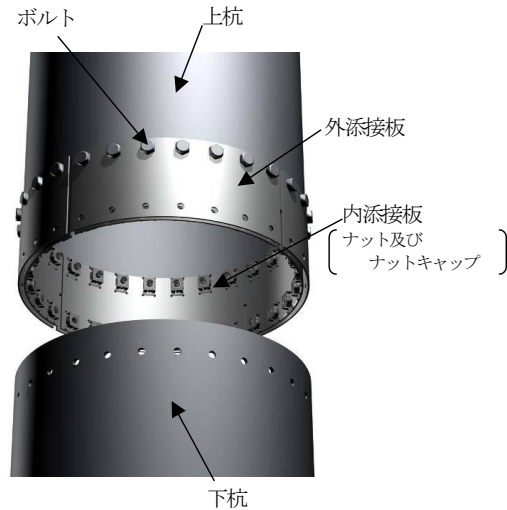


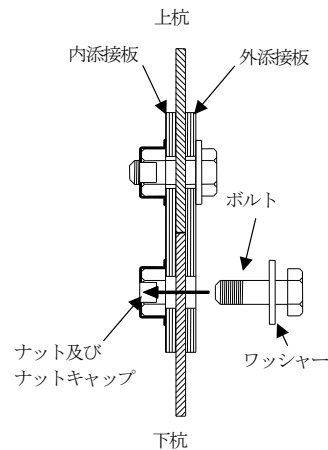
<p>【技術の名称】 NEW ボルフィックス工法 ーボルト接合による鋼管杭無溶接継手工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第07-11号 性能証明発効日：2007年7月3日</p> <p>【取得者】 JFE スチール株式会社 アイディールブレイン株式会社</p>
--	--

【技術の概要】

本工法は、鋼管杭の継手となる鋼管端部を内外の添接板によって挟み込み、これをボルトで固定する技術であり、ボルトのトルク管理を行わない場合と行う場合の2種類の接合方法を提案している。ボルトのトルク管理を行わない場合は、圧縮力は杭鋼管端部のメタルタッチのみによって伝達し、引張力、せん断力及びねじり力はボルトの支圧のみで伝達する機構となっており、ボルトのトルク管理を行う場合は、圧縮力と引張力の伝達にボルトの摩擦力が累加される機構となっている。なお、本技術は、2005年5月10日に(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第05-03号として性能証明されたボルフィックス工法を改良・発展させたものである。



Newボルフィックス構造の概要



継手部の詳細

【技術開発の趣旨】

従来行われている鋼管杭の現場溶接による継手接合では、継手部の品質が溶接作業者の技量や溶接作業環境によって左右され、安定した品質が得られないおそれがある。本技術は、鋼管の継手接合に工場加工したボルト式継手を用いることで現場溶接作業を排除し、継手部の品質の安定化と向上を図るために開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する設計指針に従って設計され、製作・施工要領に従って製作・施工されたボルト接合による継手を有する杭鋼管は、設計で保証すべき長期荷重時及び短期荷重時の構造耐力を有し、かつ、設計指針に定める終局耐力を有していると判断される。また、本工法による継手部は、設計指針に定める回転剛性を有していると判断される。

【本技術の問合せ先】

JFE スチール株式会社 担当者：市川和臣 E-mail：k-ichikawa@jfe-steel.co.jp
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 TEL：03-3597-4488 FAX：03-3597-4530
 アイディールブレイン株式会社 担当者：佐藤孝典 E-mail：sato@ibrain.jp
 〒104-0042 東京都中央区入船 3-7-2 山京ビル 9F TEL：03-5541-7600 FAX：03-5541-7601